



コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● 基準価額の騰落率

(2015年4月30日付)

1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	設定来
▲0.09%	2.31%	9.34%	9.96%

● ファンドのデータ

(2015年4月30日付)

基準価額	10,996円
純資産総額	231百万円
受益権総口数	210百万口

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.6%	▲0.5%
静岡銀行株式	8.6%	+0.9%
現金等・その他	▲0.2%	▲0.4%
構成銘柄	31社	±0社

● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はござません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30+しづぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。4月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.6%、静岡銀行株式8.6%です。当ファンドの月間リターンは0.09%の下落となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは0.86%の下落、静岡銀行株式は10.33%の上昇となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎4月の組入銘柄(組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

4月末の組入銘柄は、前月と同様に30銘柄となりました。「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き全売却候補1銘柄を提案しました。提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

◎4月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

4月末の株式組入比率は98.4%となり、残りの1.6%程度は現金などを保有しています。月を通して98%を中心にプラスマイナス1%程度の範囲を維持しました。

◎4月の組入上位10銘柄と投資行動

4月の組入上位10銘柄は、「システムズ」「味の素」「セブン&アイHD」「東レ」「三菱商事」「楽天」「リンナイ」「東京エレクトロン」「ベネッセホールディングス」「SMC」です。主な投資行動として、米アプライドマテリアルズとの経営統合が白紙撤回されたことにより株価が大幅下落し、組入比率が下落した「東京エレクトロン」を中心に買い付け、相対的に組入比率が高くなった複数銘柄を少しずつ売却しました。投資行動の結果、当ファンドで保有する30銘柄の組入比率は最大3.4%～最低3.2%の範囲に収めています。

◎4月のファンド月間リターンとその要因

4月のファンド月間リターンは0.86%の下落となり、保有する30銘柄の内、17銘柄が月間リターンマイナスとなりました。なお、月間リターン下位5銘柄は「東京エレクトロン(月間騰落率▲21.26%)」、「ディスク(同▲10.75%)」、「カカクコム(同▲6.96%)」、「信越化学(同▲6.31%)」、「エーザイ(同▲5.89%)」です。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは3.22%の上昇となり、当ファンドはTOPIXを4.08%下回りました。その要因として、銘柄では保有30銘柄の内、24銘柄がTOPIXの月間リターンを下回ったことが挙げられます。また業種配分の要因として、TOPIX業種別株価指数における騰落率上位5業種は鉱業(月間騰落率+13.22%)、石油・石炭(同+11.09%)、パルプ・紙(同+10.76%)、銀行業(同+10.69%)、保険業(同+7.28%)となりましたが、当ファンドではこれら業種の保有比率がゼロであったため、TOPIXを下回るリターンとなりました。

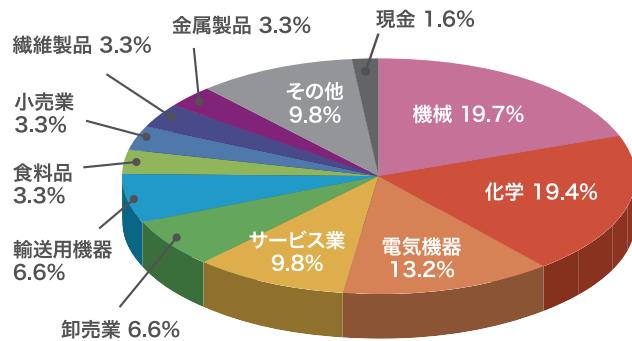
◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

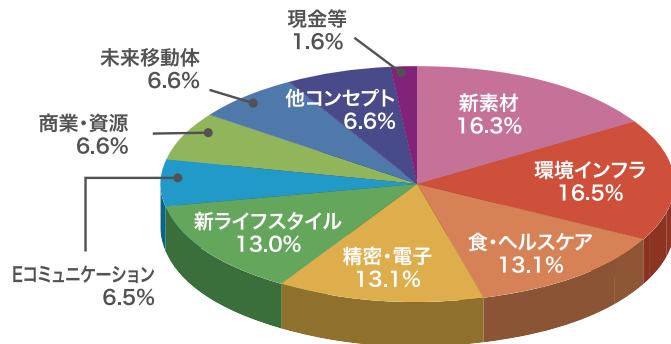
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎ 業種別構成比



◎ 未来コンセプト別構成比

(2015年4月30日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年4月30日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
システムズ [6869]	電気機器	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
味の素 [2802]	食料品	食・ヘルスケア	日本の昆布だから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
セブン&アイ・HD [3382]	小売業	新ライフスタイル	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」という感じです。
東レ [3402]	繊維製品	新素材	レーヨンの生産から始まり、多角化しながら発展。繊維での縫製品事業や炭素繊維複合材料は顧客との強いコネクションを持ち、高い成長が期待されます。自前主義にはこだわらず、M&Aやアライアンスにも積極的。先端材料No.1企業を目指し邁進しています。
三菱商事 [8058]	卸売業	商業・資源	地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせという世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続けると思います。
楽天 [4755]	サービス業	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行ってています。
リンナイ [5947]	金属製品	代替エネルギー	給湯、暖房のトップメーカーです。製品デザインの刷新、製販一体の全員経営、経営の見える化などの経営革新の成果が現れています。創業期より海外展開を行っており、韓国、インドネシア、ブラジル、オーストラリアなどでも強いブランドを築いています。
東京エレクトロン [8035]	電気製品	精密・電子	「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信し、商社から出発、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦を続けています。
ベネッセHD [9783]	サービス業	教育・娯楽	日本の通信教育事業において、圧倒的なシェアを誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開(台湾、中国、韓国)と事業領域拡大(介護、語学)で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。
SMC [6273]	機械	精密・電子	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップです。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長しています。

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック！

4月は東京エレクトロンの株価が3月末比で約21%と大幅下落しました。2013年9月に合意した米アプライドマテリアルズとの経営統合契約を解約すると27日に発表したことが引き金となりました。独占禁止法関連の審査で、両社と米司法省との間に大きな認識の違いがあり、解決のメドがたたないことが統合破談の理由です。将来の収益拡大期待などが剥がれ落ち、発表翌日の28日の株価は約15%急落と失望売りが膨らみました。

コモンズでも、ハイテク分野において日米半導体製造装置トップ企業の統合を目指した戦略に期待する一方、統合予定期日の延期が続いたことで、その破談リスクもゼロではないと感じておりました。今後、半導体製造業界の中で、単独で生き残るのか、新たな再編に向かっていくのか戦略の練り直しが必要になると思われます。事業環境が変化しても、「創業時のエネルギーが脈々と続く、'革新'を続ける会社」であると考えています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

◎4/5(日)開催「コモンズ6周年イベント@東京」企業との対話

4/5(日)に開催しました「コモンズ6周年イベント@東京」の第2部は「企業との対話」と題し、コモンズ30ファンドの投資先企業である「味の素」「資生堂」「システムズ」「ヤマトホールディングス」の4社のIR担当者さまにご登壇いただきました。

「2020年の会社の姿」と題し、各社の事業戦略などをお話をいただきました。その後、会場内に設置した各企業様のブースにて、参加者の皆様との直接対話の場を設け、最後は投資委員会メンバーとのパネルディスカッションを行いました。

特に、コモンズが大事にしている「投資先企業とお客様との対話」の実現の場として、約1時間という時間を割いて、各企業ブースにて参加者が企業の担当者と直接話ができる時間を設けましたが、積極的な質問や意見交換が繰り広げられました。また、パネルディスカッションでは、「美と資本主義」という観点から話が進み、各企業様が変わらずに大事にしている「価値観・理念」が掘り下げられていました。

このイベント後、参加いただいた資生堂の白岩様からは、「私個人としては今回初めてのイベント参加となりましたが、長期投資を通じてよりよい明日をつくるというコモンズの理念をお仲間と一緒に共有させていただき、大変感銘を受けました。これからも投資家の皆様に企業価値をしっかりとお伝えするためのIR活動に一層力を入れていきますので、引き続き資生堂へのご支援を宜しくお願ひいたします。」といったお言葉やシステムズの岡田様からは「コモンズのお仲間の皆さんと直接色々とお話できて、とても良い機会となりました。「日本にこんなスゴイ会社があったんだ!応援します。」というコメントをいただき、とても嬉しかったです。」というようなお言葉も頂戴しました。

「企業との対話」の様子は弊社のブログなどでも順次紹介してまいります。

<http://park.common30.jp/>

「企業との対話」はコモンズ30ファンドが掲げる大事な特長でもあり、こうした対話を通じて新しい価値創造をしていきたいと考えております。大阪での6周年イベントにはベネッセホールディングス様が、名古屋では堀場製作所様にご登壇いただきます。こちらもぜひお楽しみに!ご参加いただいた4社の皆様、本当にありがとうございました。



● メディアに登場！

日付	掲載メディア	ニュース
4月3日	日経新聞	(スクランブル)自社株買い銘柄 明暗 成長戦略欠けば効果薄くで糸島がコメントしました
4月6日	日経電子版	マネー底流潮流「仕切り直しの日経平均2万円 残った波乱の芽」で伊井がコメントしました
4月6日	日経CNBC	「日経ヴェリタストーク」に渋澤が出演しました
4月10日	日経CNBC	「夜エクスプレス」15年ぶり2万円の先を読むに糸島が出演しました
4月12日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言「異次元緩和がもたらす弊害」
4月13日	日経DUAL	渋澤健 チェンジメーカーの7つの感情第4回で 一橋大学大学院商学研究科 教授クリスティーナ・アーメージャンさんとの対談が掲載されました
4月23日	日経新聞	17面(銘柄診断)「三菱UFJ 一時、6年半ぶり高値 業績期待、新中計に注目」で糸島がコメントしました
4月23日	STOCK VOICE	「マーケット解説」に糸島が出演しました
4月23日	GoodWay	コモンズ6周年イベントの様子を取材いただきました
4月24日	Financial Standard	現役ファンドマネージャー糸島孝俊氏インタビュー(第1回)で糸島を紹介いただきました
4月30日	日本証券新聞	コモンズ6周年イベントの様子を取材いただきました

● ちょっといい話

◎「R&Iファンド大賞 NISA部門で優秀賞を獲得！」

コモンズ30ファンドが、『R&Iファンド大賞2015』の【NISA/国内株式部門】で優秀賞を受賞しました。全体の【投資信託】のカテゴリーの「国内株式型」部門でも6位となり、両カテゴリーで上位2%にランクインしたことになります。同賞は、定量評価のみで過去3年間の「シャープ・レシオ」というリスク調整後のリターンを比較する数値のランキングを主にしていますので、リターンが高いだけでなく、如何にリスクを抑えているのかがポイントになります。

「世代を超える」という長期目標で、企業を取り巻く環境が変化しても持続的な価値創造を成し遂げる「強い企業」に投資することを目指してきた6年間。財務的な「見える価値」と共に企業の非財務的な「見えない価値」に重点を置いて投資先を決めてきました。私たちの投資プロセスの方向性が投信評価会社の定量分析からも評価されたことは、とても嬉しく思います。

こうした実績を支えるのは、お客さまからの安定的な資金流入と投資先企業の企業価値向上の取り組みがあつてこそです。投資先企業の方々からも「投資方針を貫徹しつつ大賞を取るのは並々ならぬことかと思います。弊社も引き続き株主価値向上に努めます。」、「コモンズ30ファンドに組み入れていただいており、本当に我が事のように嬉しいです。今後も、企業価値向上を怠ることなく、期待に応えられる会社でありたいと思います。」などのコメントを多数いただきました。長期投資を前提としているからこそその企業との対話をもますます拡充してまいります。

勿論、こうした評価もあくまで過去の実績に対してとなります。弊社としては、これを励みに、運用力の更なる向上を目指して、日々の活動に取り組んで参ります。

「コモンズ30+しづぎん」ファンド、引き続き、ご期待ください。

コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

● R&Iの評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

■ R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

■ R&Iファンド大賞2015の概要について

「投資信託」および「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA」はNISA(少額投資非課税制度)向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」はR&I ユニバースデータサービスに登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」、「確定給付年金」では2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託」及び「NISA」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「確定拠出年金」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上、「NISA」では2015年3月末における過去3年間の月次収益率の標準偏差(年率)が30%以下の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価に「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2015年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト(http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/)をご覧下さい。



● コモンズ流投資判断(コモンズ30マザーファンド)

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聰	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10

商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%（税抜1.15%）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

信託設定日	平成26年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。）
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	継続申込期間（平成26年12月29日から平成28年3月17日まで） 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（ファンドの基準価額は1万口あたりで表示しています。）
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
換金制限	信託財産の資産管理を円滑に行うため、1日1件5億円を超える換金はできません。 また、別途、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
（株）静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○	
マネックス証券（株）	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○